

2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東
 コード番号 2418 URL <https://www.tsukada-global.holdings>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 山崎誠広 (TEL) 03-5464-0081
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	11,793	△59.4	△7,740	—	△8,186	—	△6,719	—
2019年12月期第2四半期	29,071	3.9	2,261	110.1	2,014	102.1	1,289	119.2

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △6,856百万円(—%) 2019年12月期第2四半期 885百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△140.86	—
2019年12月期第2四半期	27.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	92,830	30,309	32.7
2019年12月期	99,343	37,404	37.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 30,309百万円 2019年12月期 37,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期の配当予想については現時点で業績の予想が困難なため未定としております。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	48,960,000株	2019年12月期	48,960,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	1,259,834株	2019年12月期	1,259,834株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	47,700,166株	2019年12月期2Q	47,700,166株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12
3. 補足情報	12
(施行及び受注の状況)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により社会活動及び経済活動が制限されたことから企業収益や雇用情勢並びに個人消費等が悪化するなど、先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境の中、当社グループはブライダル市場、ホテル市場並びにウェルネス&リラクゼーション(W&R)市場における新たな価値の創造、高品質かつ魅力あふれる店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う訪日外国人数の激減、結婚披露宴開催時期の延期やキャンセルの増加及び、総合フィットネスクラブにおいても会員様の休会・退会者数が増加し、当社グループの全セグメントにおいて多大な影響を受けることとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、11,793百万円(前年同四半期比59.4%減)となり、利益面につきましては、営業損失7,740百万円(前年同四半期は営業利益2,261百万円)、経常損失8,186百万円(同 経常利益2,014百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失6,719百万円(同 親会社株主に帰属する四半期純利益1,289百万円)と大幅な減収減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、結婚披露宴の延期やキャンセルが増加し、施行件数が2,141件(前年同四半期比63.8%減)と大きく減少したことにより売上高は減少いたしました。利益面についても、全社を挙げてコストダウン施策に取り組みましたが、セグメント利益も減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は7,160百万円(前年同四半期比61.0%減)、セグメント損失は3,464百万円(前年同四半期はセグメント利益2,943百万円)となりました。

② ホテル事業

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、訪日外国人数の激減に伴う宿泊売上の減少や宴会部門及び、ホテル婚礼に延期やキャンセルが増加したことに伴いホテル婚礼の施行件数が283件(前年同四半期比64.1%減)と減少したことにより売上高、セグメント利益ともに減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は3,492百万円(同60.1%減)、セグメント損失は2,863百万円(前年同四半期はセグメント利益328百万円)となりました。

③ W&R事業

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、総合フィットネスクラブ「BEST STYLE FITNESS」4店舗において、会員様の休会・退会者数が増加したことから売上高、セグメント利益ともに減少となりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,139百万円(前年同四半期比41.5%減)、セグメント損失は538百万円(前年同四半期はセグメント損失174百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ6,513百万円減少し、92,830百万円となりました。これは主に、「キンプトン 新宿東京」(東京都新宿区)の引渡しにより建物及び構築物が8,760百万円増加した一方、建設仮勘定の本勘定への振替に伴い5,757百万円、設備投資及び営業赤字の影響等により現金及び預金が10,382百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ581百万円増加し、62,520百万円となりました。これは主に、法人税等の納付により未払法人税等が1,258百万円、買掛金が2,038百万円及び流動負債のその他が2,869百万円それぞれ減少しましたが、設備投資融資及び緊急融資より長期借入金が増加した6,096百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ7,094百万円減少し、30,309百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が6,957百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ10,382百万円減少し、17,876百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は9,471百万円（前年同四半期は2,240百万円の獲得）となりました。これは主に、減価償却費が1,576百万円ありましたが、税金等調整前四半期純損失が8,587百万円及び仕入債務の減少が2,037百万円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は6,666百万円（前年同四半期は3,964百万円の使用）となりました。これは主に、設備投資による有形固定資産の取得による支出が6,507百万円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は5,773百万円（同34.9%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が2,806百万円ありましたが、長期借入れによる収入が8,300百万円となったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年5月8日に公表したとおり、現時点では、新型コロナウイルスの感染収束時期の見通しが未だ不透明な状況にあり、2020年12月期の通期の連結業績予想の数値については合理的な算定が困難なため、未定とさせていただいております。今後、新型コロナウイルスの感染の動向を見極めながら、連結業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,347	17,965
売掛金	1,259	385
有価証券	2,455	1,299
商品	116	118
原材料及び貯蔵品	530	510
その他	1,389	2,005
貸倒引当金	△22	△24
流動資産合計	34,076	22,259
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,199	30,959
土地	9,574	10,945
建設仮勘定	9,837	4,079
その他(純額)	1,909	2,009
有形固定資産合計	43,520	47,995
無形固定資産		
のれん	1,475	1,356
その他	195	624
無形固定資産合計	1,670	1,981
投資その他の資産		
投資有価証券	6,721	5,565
敷金及び保証金	8,451	8,258
その他	4,964	6,867
貸倒引当金	△213	△240
投資その他の資産合計	19,925	20,451
固定資産合計	65,115	70,427
繰延資産	151	143
資産合計	99,343	92,830

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,298	259
短期借入金	—	852
1年内返済予定の長期借入金	4,617	4,014
1年内償還予定の社債	668	668
未払法人税等	1,275	17
前受金	2,442	3,147
その他	6,557	3,688
流動負債合計	17,859	12,647
固定負債		
社債	5,157	4,823
長期借入金	34,209	40,305
退職給付に係る負債	303	327
役員退職慰労引当金	831	852
資産除去債務	2,412	2,405
その他	1,167	1,160
固定負債合計	44,080	49,873
負債合計	61,939	62,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	37,937	30,980
自己株式	△892	△892
株主資本合計	38,151	31,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△72	△104
繰延ヘッジ損益	△504	△533
為替換算調整勘定	△163	△240
退職給付に係る調整累計額	△5	△5
その他の包括利益累計額合計	△747	△884
純資産合計	37,404	30,309
負債純資産合計	99,343	92,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	29,071	11,793
売上原価	19,329	12,554
売上総利益又は売上総損失(△)	9,742	△760
販売費及び一般管理費	7,480	6,979
営業利益又は営業損失(△)	2,261	△7,740
営業外収益		
受取利息	13	86
匿名組合投資利益	73	73
不動産賃貸収入	175	16
その他	39	60
営業外収益合計	302	237
営業外費用		
支払利息	265	363
有価証券運用損	—	162
為替差損	117	76
その他	166	81
営業外費用合計	549	683
経常利益又は経常損失(△)	2,014	△8,186
特別利益		
固定資産売却益	23	0
子会社株式売却益	208	—
投資有価証券売却益	—	64
特別利益合計	231	64
特別損失		
固定資産除却損	5	6
店舗閉鎖損失	2	41
有価証券償還損	12	—
投資有価証券評価損	—	145
関係会社株式評価損	—	110
貸倒引当金繰入額	5	27
その他	0	134
特別損失合計	25	465
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,221	△8,587
法人税等	962	△1,868
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,259	△6,719
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△30	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,289	△6,719

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,259	△6,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△31
繰延ヘッジ損益	△282	△28
為替換算調整勘定	△91	△45
退職給付に係る調整額	△1	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△30	△31
その他の包括利益合計	△374	△136
四半期包括利益	885	△6,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	915	△6,856
非支配株主に係る四半期包括利益	△30	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,221	△8,587
減価償却費	1,515	1,576
減損損失	—	54
のれん償却額	133	135
社債発行費償却	9	8
固定資産除却損	5	6
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△15	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	26	20
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	28
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	24
受取利息及び受取配当金	△13	△102
支払利息	265	363
持分法による投資損益(△は益)	—	32
子会社株式売却損益(△は益)	△208	—
有価証券償還損益(△は益)	12	—
有価証券運用損益(△は益)	—	162
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△64
投資有価証券評価損益(△は益)	—	145
関係会社株式評価損	—	110
固定資産売却損益(△は益)	△23	△0
店舗閉鎖損失	2	41
デリバティブ評価損益(△は益)	△5	△0
匿名組合投資損益(△は益)	△73	△73
為替差損益(△は益)	116	97
売上債権の増減額(△は増加)	0	872
たな卸資産の増減額(△は増加)	19	18
仕入債務の増減額(△は減少)	△269	△2,037
前受金の増減額(△は減少)	409	709
その他の負債の増減額(△は減少)	△37	△1,171
その他	△128	△319
小計	3,964	△7,946
利息及び配当金の受取額	4	93
利息の支払額	△259	△365
法人税等の支払額	△1,468	△1,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,240	△9,471

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,835	△6,507
有形固定資産の売却による収入	24	0
無形固定資産の取得による支出	△42	△482
投資有価証券の売却による収入	110	215
匿名組合出資金の払戻による収入	36	36
貸付けによる支出	△13	△35
敷金及び保証金の差入による支出	△39	△5
敷金及び保証金の回収による収入	47	137
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の売却による収入	771	—
その他	△24	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,964	△6,666
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	852
長期借入れによる収入	5,800	8,300
長期借入金の返済による支出	△1,654	△2,806
社債の発行による収入	1,195	—
社債の償還による支出	△295	△334
非支配株主への払戻による支出	△525	—
配当金の支払額	△238	△238
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,281	5,773
現金及び現金同等物に係る換算差額	△74	△17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,482	△10,382
現金及び現金同等物の期首残高	24,117	28,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,600	17,876

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の収束時期について、現時点では予測することが困難であります。当社グループのうち主力である国内婚礼事業では当第4四半期(10月頃)から徐々に集客数・受注数が回復し、また、ホテル事業につきましては翌第2四半期(4月頃)から徐々に宿泊稼働率が回復することを前提に、繰延税金資産の回収可能性の判断、固定資産の減損判定等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、更なる感染拡大により社会活動及び経済活動が停滞する事態となった場合、翌連結会計年度の当社グループの財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,378	8,745	1,947	29,071	—	29,071
セグメント間の 内部売上高又は振替高	753	156	5	915	△915	—
計	19,132	8,901	1,953	29,987	△915	29,071
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,943	328	△174	3,097	△835	2,261

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△835百万円には、セグメント間取引消去65百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△901百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,160	3,492	1,139	11,793	—	11,793
セグメント間の 内部売上高又は振替高	324	72	5	402	△402	—
計	7,485	3,565	1,144	12,196	△402	11,793
セグメント損失(△)	△3,464	△2,863	△538	△6,866	△873	△7,740

(注) 1. セグメント損失の調整額△873百万円には、セグメント間取引消去56百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△930百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「婚礼事業」セグメントの一部の固定資産において収益性が低下した状態が続いており、当第2四半期連結累計期間において投資の回収が見込めないと判断したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額54百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

(重要な後発事象)

(特定子会社の異動)

2020年7月1日に当社の米国ハワイ州子会社Best Bridal Hawaii Inc. が設立した米国デラウェア州孫会社につきましては、出資の額が当社資本金の100分の10以上に相当し、特定子会社に該当いたします。

(1) 孫会社の設立の目的

当社の米国ハワイ州子会社Best Bridal Hawaii Inc. は、米国において不動産の取得及びその管理を目的に孫会社を設立いたしました。

(2) 特定子会社の概要

- ①名称 TGU LLC
 ②所在地 251 Little Falls Drive New Castle Country Wilmington, Delaware 19808
 ③代表者役職・氏名 マネージャー 塚田 正之
 ④事業内容 アメリカにおける不動産の取得及び管理
 ⑤資本金 6,277,658 USドル
 ⑥設立年月日 2020年7月1日
 ⑦出資比率 100.0% (間接所有)

3. 補足情報

(施行及び受注の状況)

(1) 婚礼施行実績

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
婚礼事業	5,909	2,141	12,385
ホテル事業	788	283	1,611
合計	6,697	2,424	13,996

(2) 婚礼受注状況

期別	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)		前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	
	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)
婚礼事業	6,826	8,036	2,453	6,830	11,784	6,518
ホテル事業	877	1,268	459	1,207	1,463	1,031
合計	7,703	9,304	2,912	8,037	13,247	7,549